

発 言 通 告 書

令和2年9月10日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 小崎 愛子

次のとおり通告します。

発言順位	15	受領日時	9月10日 午前 10時 5分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 35 分
答弁を求める者	・市長 ・農業委員会会長	・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	新型コロナウイルス感染拡大抑止に 不可欠な PCR 検査の積極的拡大に ついて	(1)本市における PCR 検査数の推移について
		(2)ドライブスルーでの PCR 検査数について
		(3)「地域外来・検査センター」の設置により、感染拡大の防止はどれ くらいできる見通しか。
		(4)本市独自で、感染予防を目的として職種を限定した PCR 検査を 行うべきと考えるがどうか。
2	コロナ禍での医療機関を守ることに ついて	医療機関を守るために国や県の制度で補填しきれない病院への 財政支援を行うべきと考えるが所見を問う。
3	コロナ禍での減収介護事業者への補 助について	(1)市民からの声は寄せられていないか。
		(2)本市でも「特例措置」を積極的に算定できない介護事業者には 交付金を出す必要があると考えるが所見を問う。
4	コロナ禍の健康二次被害を防ぐため の施策について	健康二次被害予防の啓蒙活動はどのように行っているのか。
		また、啓蒙活動強化への取組と具体的な施策について
5	災害時の避難場所及び新型コロナ ウイルス感染症対策について	(1)本市の災害避難場所として活用可能なホテルや旅館などの宿泊 施設数及び実際の利用は可能なのか問う。
		(2)避難所における新型コロナウイルス対策について
6	地域公共交通網形成計画について	(1)4つの支線について、直近3年間の本市の補助金額をそれぞれ 問う。

